

平成 26 年 3 月 31 日  
株式会社 SIM-Drive  
代表取締役社長 田嶋 伸博

## 本格 EV 社会を切り拓く次世代コアモデル 先行開発車第 4 号「SIM-HAL」完成

電気自動車の研究開発を行う株式会社 SIM-Drive（本社：川崎市、社長：田嶋伸博）は、将来、電気自動車ビジネスに参入を意図している 8 機関（表 2）からの参加を頂き、2013 年 2 月より約 1 年の期間で先行開発車事業第 4 号を行って参りました。この度、本事業の成果である「SIM-HAL（シム・ハル）」（表 1）が完成しました。

「SIM-HAL」は、SIM-Drive の基本技術であるダイレクトドライブ式インホイールモータとコンポーネントビルトイン式フレームを採用した第 4 世代の電気自動車です。これからの本格 EV 社会を切り開く次世代コアモデルとなることを目標に開発し、ビークルダイナミクスを磨き上げました。電気自動車ならではの高機動性と安定性の両立、さらにはエモーショナルなスタイリングによって見る者に大いなるインパクトを与え、唯一無二の存在感を示します。

また、スマートトランスポーテーションの考え方を進化させて、EV の不安を解消し利便性を向上させる SIM-iACT 構想を提案します。

SIM-Drive は、「SIM-HAL」で培った技術を、電気自動車の普及拡大のために活かして参ります。

### 「SIM-HAL」に盛り込まれた新技術

- 1 超軽量・高効率 S S モータを新開発し採用
- 2 4 輪独立制御による操縦・安定性の飛躍的向上
- 3 共同開発参加機関からの技術を実車に 10 種類採用（表 3）

## 車名の由来

“SIM-HAL”は”High Efficiency All Wheel Link”の頭文字を連ねたもので、高い効率の下、全輪の駆動力を巧みに配する新技術を取り入れたことで、安全・快速に走破できることを示します。

表1 SIM-HALの仕様

全長/全幅/全高	4910mm/1835mm/1405mm
重量	1510kg
定員	2名
駆動方式	アウターローター式ダイレクトドライブインホイールモータ
駆動輪数	4
最小回転半径	5.5m
一充電航続距離 (JC08 モード)	404.1km ※1
走行エネルギーの消費量 (JC08 モード)	86.9Wh/km※1
最大出力	260kW (1 モータ当たり 65kW)
最大トルク	2480Nm (1 モータ当たり 620Nm)
0→100km/h 加速時間	4.70 秒 (ただし、205/40R17 装着時計算値) ※1
最高速度	180km/h ※2
電池容量	35.1kWh (リチウムイオン電池)
充電時間	1h (CHAdeMO、80%まで)

※1 計算値

※2 リミッター作動想定値

表2 参加機関一覧

AZAPA 株式会社	アルパイン株式会社
沖電気工業株式会社	カルソニックカンセイ株式会社
神鋼商事株式会社	新日鉄住金化学株式会社
積水化学工業株式会社	株式会社リコー

五十音順、敬称略

表3 4号参加機関 採用技術一覧

機能システムコンソーシアム	A Z A P A 株式会社
音響システム	
EV ナビシステム	アルパイン株式会社
メーターパネル連動表示システム	
スマートトランスポート用無線通信機	沖電気工業株式会社
熱マネジメントシステム	
バッテリー冷却システム	カルソニックカンセイ株式会社
バッテリー状態推定技術	
セブンスボード（上下アルミ板サンドイッチボード）	神鋼商事株式会社
ポリカーボネイトサンルーフ（ハードコート処理）	新日鉄住金化学株式会社

## 【本件の問い合わせ先】

株式会社 SIM-Drive      Eメール : [contact@sim-drive.com](mailto:contact@sim-drive.com)